

2021年度版

上菅田笹の丘小学校 スタンダード



じぶん だいすき なかま だいすき
自分大好き 仲間大好き

こころ
心 かがやく

かみすげた ささ おかしょうがっこう
上菅田笹の丘小学校



かみすげたささ おかしょうがっこう こうない せいかつ しかた きほんてき
上菅田笹の丘小学校スタンダードは、校内での生活の仕方についての基本的なきまりや
ルールを全校で統一したものです。どの学年・学級においても同じきまりやルールのもと
で生活することで、一人ひとりの子どもたちが毎日気持ちよく生活することができます。

これからの社会において必要となる「生きる力」をはぐくむためには、学校だけではなく、ご家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切です。ご家庭でも、この上菅田笹の丘小学校スタンダードをもとに子どもたちに言葉をかけてくださいますようお願いいたします。

学校のきまり

登校	8時05分～8時20分	
下校	4時間授業	1時35分
	5時間授業	2時25分
	6時間授業	3時10分
	クラブのある日	3時25分

☆登校・下校☆

- ☆ 8時05分から8時20分の間に学校に着くように登校する。
- ☆ 人の家やマンション、駐車場など、敷地内に入らない。
- ☆ 決められた通学路を通して通学する。防犯ブザーを身に付ける。
- ☆ 大きな声を出したりせず、広がらずに道路のはしを歩く。
- ☆ 校庭は通らず、コンクリートの通路を通る。
- ☆ 遅刻・早退するときは保護者と一緒に登下校する。
- ☆ 1年生は名札をつけて登校する。(名前は見えないようにする)



～学校についたら～ <<くつ箱>>



- ・ くつはくつ箱の中央に置き、しっかりそろえる。つま先が奥に当たるまで中に入れる。
- ・ 2段のくつ箱の場合、くつは下段、上ばきは上段に置く。
- ・ くつや、上ばきは、かかとをふまないでよく。
- ・ うわばきの前に学年組名前を大きく書く。

そろっていると
気持ちがいいね!

【2段の場合】



【1段の場合】



<ロッカー>

- ・ ランドセルは背もたれを左側にして壁にしっかり寄せる。
- ・ 右側の空いているスペースに本などを入れる。
- ・ 荷物はなるべく少なくする。
- ・ 脱いだコートやジャンパー、手袋等の防寒具はランドセルの中にしまう。



☆朝の時間☆ (8:25～35の10分間)

- 月・チャレンジタイム
- 火・朝会
- 水・読書
- 木・集会
- 金・チャレンジタイム

・ チャレンジタイムでは、国語や算数などの学習に取り組む。

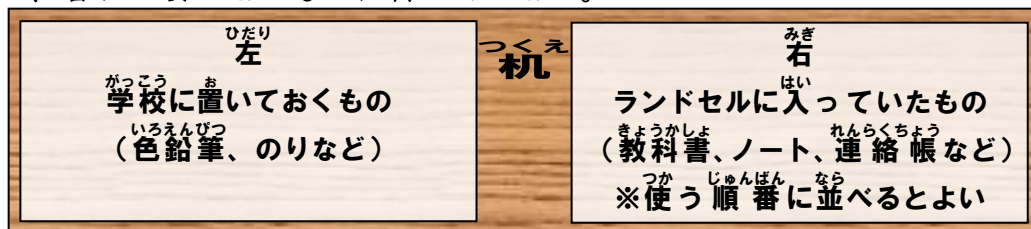
・ 8時25分になったら、必ず朝の活動ができるように準備をする。



☆^{がくしゅう}学習のきまり☆

<机の中>

- ・^{どうぐばこ} 工具箱の^{ひだりがわ} 左側はいつも置いておくもの（^{いろえんぴつ} 色鉛筆、のりなど）を入れる。
- ・^{みぎがわ} 右側は教科書などランドセルに入れてきたものを入れる。
- ・^{がくしゅう} 学習に必要なもの（^{ひつよう} 必要なもの）は持ってこない。



イス

※^{こじん} 個人のはさみ（^{きめい} 記名したもの）は、^{たんじん} 担任の先生に^{せんせい} 保管してもらう。



<学習用具>

ふでばこ 筆箱

- ・^{えんぴつ} 鉛筆5本、^{あかえんぴつ} 赤鉛筆1本、^{あおえんぴつ} 青鉛筆1本、^け 消しゴム1個、^こ ネームペン、^{じょうぎ} ミニ定規を入れる。
- ・^{ふでばこ} 筆箱はシンプルなものにする。（^{キーホルダー} キーホルダーなどはつけない。）
- ・^{えんぴつ} 鉛筆は家で^{いえ} 削ってくる。（^{ふか} シャープペンシル不可）

ノート

^{がくねん} 学年に応じたものを使用する。

	漢字	国語	算数	理科・社会
1年	50字	8マス×6行 27mm マス（十字リーダー入り）	12×7マス 19mmマス （十字リーダー入り）	
2年	84字	12マス	14マス	
3年	104字	15マス×10行 （中心リーダーあり）	10mm方眼リーダーなし	10mm方眼リーダー入り （または5mm方眼）
4年		12行		
5年		120字		
6年				

ランドセル

- ・^{そつぎょう} 卒業まで使用する。破損等で使用できない場合は、^{はごしゅ} 保護者が^{れんらく} 連絡し^{がっこう} 学校長の許可を得る。
- ・^{ぼうはん} 防犯ブザーを必ずつける。（^{キーホルダー} キーホルダーはつけない。）

大切に^{つか} 使ってね。



＜正しい姿勢＞

- ・背筋を伸ばし、ひじは机につかないようにする。
- ・下じきを使い、手をそえて書く。



＜話し方・聞き方＞

- ・時と場所、話す相手にふさわしいていねいな言葉づかいをする。
 - ☆友だちを呼ぶときには「～さん」と呼ぶ。
 - ☆先生やお客様には「～です。」「～ですか。」など、ていねいな言葉で話す。
- ・場に応じた声の大きさと話す。
- ・話している人の方に体を向け、目を合わせて聞く。
- ・人が話しているときは、静かに聞き、途中で口をはさまないようにする。

＜教室移動＞

- ・行きも帰りも2列に並んで静かに右側を歩く。
- ・教室を出る際は机と椅子を必ずそろえる。
- ・そうじ・委員会以外は児童だけで、鍵を取りに来ない。



＜体育の服装＞

- ・体育着の上着は短パンの中に入れる。赤白帽子をかぶる。
- ・赤白帽子は必ずゴムをつけ、あごにかける。
- ・冬場はトレーナーを着てもよい。フードやジッパーがあるものは不可とする。
- ・長い髪は結び、ミサガなどはしない。

これらの約束が守られていない場合は見学です。

☆休み時間☆

＜遊び場＞ 校庭・体育館・2階テラス（校庭以外は先生と使う）

- ・配当された曜日は、必ず配当場所で運動をする。
- ・レンガの通路・コンクリートの上では、走り回ったり、ボール遊びをしたりしない。
- ・校庭のネットに寄りかかったり、上ったり、ひっぱったりしない
- ・池の周りで遊んだり、池の中に入ったり、石や砂を入れたりしない。
- ・特別教室・屋上・校舎の裏側などには先生の許可なく入らない。
- ・ボールをける遊びはしない。
- ・階段やろう下、教室では走り回って遊ばない。
- ・1年生の図書室利用は授業時間のみ。（休み時間配当なし）

体育館・テラスは、担当学年の担任が一人ずつ付きます。
校門前で一輪車などの用具を使う場合も担任が付きます。

とうばんかつどう

☆当番活動☆

きゅうしょく

給食

- ・ 当番 手洗いをして着替え、2列に並ぶ。(帽子やマスクから髪や鼻が出ないように)
 - ・ 当番以外 食事環境作り(空気の入替え、ゴミ拾い、机ふきなど)をし、ストロー配りやりサイクルかごの用意をする。手洗いを済ませ、帽子やマスクをして自分の席で静かに待つ。
- ☆ハンカチ、マスク、ナフキンは毎日洗濯する。



きょうしつ

そうじ(教室)

- ・ 掃除の始まり3分前までに机を教室の前か後ろに動かす。
- ・ 教室の1箇所を「ゴミを集める場所」にして、ほうきでゴミを集める
ほうきは「ゴミを集める場所」に遠い所から掃きはじめ、集める場所におかたて進む。
- ・ ほうきが終わったら、ぞうきんがけを教室の隅から隅までする。スピードを出さない。
- ・ 机、椅子を運ぶときは持ち上げる。



かえ やくそく

☆帰りの約束☆

- ・ 教室内で「さようなら」をしたらすぐに教室を出る。
- ・ 教室やろう下の窓をしめる。電気を消す。
- ・ 一緒に帰る他クラスの友達を待つときは、ろう下で待たず門の所で待つ。



ほうかご

☆放課後のきまり☆

- ・ 家に帰ってランドセルを置いてから、遊んだり、習い事に行ったりする。
- ・ 学校では、ものを食べない。
- ・ 自分の水筒の飲み物か水道の水を飲むようにする。ペットボトルなどは持ってこない。
- ・ 公園等で遊んだときは、ゴミを持ち帰る。
- ・ 放課後の忘れ物は原則取りに来ない。来るときは、必ず保護者と一緒に来る。

こうていかいほう じかん

校庭開放の時間

4月~9月	10月、11月	12月、1月	2月、3月
午後4時45分まで	午後4時30分まで	午後4時まで	午後4時30分まで

☆その他☆

- ・ 欠席するときはマチコミ(メール)で知らせる。
- ・ 水筒の中身はお茶か水にする。(特別な場合を除く)
- ・ 授業時間の水分補給は先生の指示があるときに飲むようにする。
- ・ カイロは持ってきてもよいが外に出さないようにする。

家庭学習のすすめかた

- 家庭学習の時間を決める。
- 机の上などを片づけ、よい姿勢で学習する。
- 学校の宿題はできるだけ最初にすませる。
- テレビを見たり、音楽を聞いたりしながら学習しない。
- 計算問題などは、丸つけをして、間違えたらもう一度取り組む。
- 終わったら、明日の準備をする。
- 毎日続ける。



保護者の皆様へ

- お子さんに応じた学習の習慣を身に付けさせてください。
- 学習したことを認め、励まし、ほめてあげてください。
- 計算問題の丸つけなど、自己評価力を高める支援をしてあげてください。
- 低学年では、生活リズムと共に家庭学習の習慣を身に付けさせてください。
- 中学年では、自分の力で課題を解決できる時間を増やしていきましょう。
- 高学年では、自分の興味・関心や課題に応じて学べるようにしてください。

自ら学び自ら考える子どもに

家庭教育は全ての教育の出発点です。子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るなど「生きる力」の基礎的な資質や能力は、ご家庭において培っていただくことが大切です。

家庭学習をすることで、学習内容の定着がより確かなものとなり、学力がより一層向上していきます。自ら学び自ら考えるようになった子どもは、生涯にわたって学び続け、様々な課題を自分の力で解決していくことでしょう。「家庭学習のすすめかた」を参考にしながら、家庭学習がさらに充実するようご活用いただければ幸いです。

家庭学習のすすめかた

かていがくしゅうじかん めやす 家庭学習時間の目安

1・2	ねん	10～20	ぶん
3・4	ねん	30～40	ぶん
5・6	ねん	50～60	ぶん

1 国語の学習

- ①教科書や好きな本を読んだり、音読をしたりする。
- ②教科書の文章や詩をノートにしていねいに写す。
- ③新しく習った漢字や、覚えていない漢字を練習する。
- ④習った漢字を使って、短い文を作る。
- ⑤分からない言葉の意味や使い方を辞書で調べる。
- ⑥ことわざや四字熟語などを調べて使う。



こがくしゅう けんてい
はまっ子学習ドリル・検定システム

ID..... hamady

パスワード.. y4580

2 算数の学習

- ①教科書やドリルの問題に繰り返し取り組む。
- ②目標時間を決めて計算問題に取り組む。
- ③ものさしや三角定規、分度器、コンパス等を使って、いろいろな図形をかく。
- ④間違えた問題は、もう一度取り組む。

3 各教科等の学習

- ①その日の出来事を思い出して、相手に伝わるような日記を書く。
- ②動物や植物について観察したり、調べたりする。
- ③天気、太陽、月、星などの観察をする。
- ④いろいろな言葉、ものの由来などを調べる。
- ⑤自分が住んでいるまちや、横浜市・神奈川県のことを調べる。
- ⑥地図帳や資料集などを見て、都道府県や各国の位置、歴史上の出来事などを調べる。
- ⑦新聞を読んで気になる記事を集めたり、写したり、考えを書いたりする。
- ⑧鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの楽器を練習したり、歌を家族に聞かせたりする。
- ⑨図書館や美術館、博物館などに行ってみる。



4 復習・予習



○ 復習

授業で学習した内容を家で振り返ります。教科書やノート等を読み返して、分かったところに「○」分からないところに「△」などのしるしをつけていきます。分かるところと分からないところのはっきりしたら、分からないところは教科書とノートを見直したり、家族に聞いたりして解決しましょう。しばらく時間が経ってから復習してみると、内容を理解しているかがわかります。

○ 予習

次回に習うところを読んだり、分からない言葉を調べたりします。声に出して読んだり、ノートに書いたり、分かる問題を解いてみたりするとより効果的です。